

ゆう動物病院新聞



平成20年号

今年で五年目を迎える事ができました。無事、と言うほど結構平穏でも無かったのですが、何とかたどり着けたのは皆さんと家族・スタッフのお陰だと思えます。ありがとうございます。

病院そのものは予定していた事は殆ど無事に達成する事ができました。小さいながらも自分の想う病院は作れてきていると思っています。これからも初心を忘れないで、進化発展する病院とスタッフでありたいと願っています。宜しく願います。

院長 森本真一郎

発行 ゆう動物病院
〒601-8432 京都市南区西九条東島町58-103
TEL. (075)681-5300 / FAX. (075)681-5300
URL: <http://www11.plala.or.jp/>

フィラリア時(春)のお得な健康診断好評です！

年に一回の採血、せっかく我慢するのにフィラリアだけ……。もったいないので、思い切って検査機関とタイアップして通常の半額～3割程度で全身の血液検査ができる様にしています(7月未まで)！今年も猫さんも参加できます！！

去年試してみ、皆さんの健康意識の高さと検査の有意性を感じました。前回参加した方は結果が良く分かる資料を作りましたので、貰って下さい。

今年より少量の血液で、迅速な診断、更にこれから5年分のデータと並べて比較できる検査会社に変えました。

毎年する事で健康管理の財産になります！

追加検査はより有用なのを細かく分けて追加で選べる様にしました。

検査の種類と値段

*フィラリア抗原検査だけだと2000円です。

基本検査

フィラリア抗原等12項目(腎臓・肝臓・糖尿……)の健康診断 4000円(普段は7000円程度の検査分になります)

(以下は追加でできる項目になります。何かするかは相談しましょう。)

☆血球検査(皆にお勧めしますが、特に高齢で): +1000円

☆電解質検査(皆にお勧めしますが、特に高齢で): +1000円

☆甲状腺検査(7歳以上お勧め): 去年より高精度です。

+3000円

☆犬CRP測定(何か体調が悪い子に): 体の炎症反応をみます。

+1500円

☆糖化アルブミン・インシュリン(太っている子): 糖尿病のチェック。

+5000円

☆犬Nt-proBNP(心臓病が早く分かる): 高齢・心雑音のある子。

+7000円

こんな子は特に健康診断をお勧めです！

(年齢が5～7歳以上・以前に病氣した・以前に数値異常があった)

◆ 去年の改善点 ◆

①今年も下げました。

連続で飲む系統のお薬の一部・注射麻酔代・組織病理検査代(細胞診は少し値上げです)・レボリユーシオン(ノミ駆除薬)・五頭以上集団接種のノラ猫さんワクチン値段。

②新しい血球計算機を導入しました。

人でもシェアNo.1のシスメックス社の高性能の血球計算機で白血球や赤血球・血小板等の分析が、更に素

③皮膚科認定医への始動をしています。

早く正確にできる様になりました！でも検査費用は1000円から一五〇〇円にアップしました。申し訳ありません。

去年制度が発足しました。元々学会には所属していませんが、認定医を3～5年かけて取得する予定です。講習等で出張が増えて御迷惑をお掛けする面もあるかもしれません。

④こんな専門本を購入しました。

皮膚・歯科・呼吸器・レントゲン・軟部外科手術・辞書等を増やしました。もちろんスタッフも含めてセミナーや実習等にも出ています。

⑤スタッフルームを作り在庫スペースも確保しました。

実は狭い病院で着替える所もトイレ……みたいな状況でしたが、お蔭様でスタッフルームの確保ができました。ストレス等が減ってより良いサービス・医療が提供できると期待しています！同時に在庫スペースも確保しましたので、なるべく在庫数を確保し、不足を減らす体制にしています。正社員も増えレベルアップしました！

⑥おまけ沢山増やしています。

予防して頂いたり病院に遊びに来たり、フードを買って貰ったら(特に最近原料高でフードが値上がりしていますし)、お得を感じて貰える様に努力しています。例えば去年はこんなのを配りました。「ミニカバン・ぬいぐるみ・ペットの

心理本・絵本・ウンチ袋・計量スプーン・特製カレンダー・除菌消臭剤サンプル・試食(歯磨きガム・ダイエットスナック・低アレルギー・スナック・クローラ・各種フード・リゾット風フード)・年齢早見カード etc

お配りするのはタイムイングがあるので、まれに何も無い時もあります、御了承下さい。

⑦ 去年末から毎月のインフォメーション配っています。

毎月病院スケジュール・イベント・最新商品・御注意・ちよっとした豆知識等を載せたインフォメーションを新聞とは別に配っています。貰いに来て下さいね。ちなみに情報量は減りますが、メールでの送信もしていますので y@doctor.email.ne.jp に御登録下さい。

更に一今年からホームページ <http://www.t.plala.or.jp/YUU/> のトップページで簡単に休情報などを毎月案内しておりますので是非見て下さい。

⑧ いろいろ……色々 聴診器を最新式にしまし

た(非常に良く聴こえ、ペットさんの体にも当りが柔らかいです)。

院内のロールカーテンを温度調節できる明るいものに変えました。

空調向上の為に、空気清浄機を追加し、タワー型扇風機とカーボンヒーターを入れしました。

眼科の器具を増やしました。点滴の器械の個数を増やしました。除菌消臭に便利

な商品を探して用意しました(院内の方法も改善)。

スタッフとシヤンブーの講習を受けてラインナップをより充実しました。一回打つと二週効く便利な抗生剤を導入しました。

耳鏡の映像をモニターで確認できる様にしました。ラジオの深夜放送に出ました(笑)。

二〇〇七年を振り返って



一年と言うよりも、五年を振り返って考えてしまふ事なのですが、色々病院やスタッフと共に成長できたと思う反面、なかなか進歩が乏しいなあと、多々あります。たかが五年されど五年ってやつですね。

学術的・技術的な進歩以前に、自分の仕事スタンスが最近ではセーブされた形になつているのが歯がゆい気がする時があります。ワーカーホリックってやつでしょうか……。開業当時は自分が休む事は許されないと思っていました。今は自分自身や家族の時間を大切にしつつ仕事をやる事を目指しています。スタッフの人もそうであつて欲しいと思います。どう思われるでしょうか……。たるんでいますか(笑)？

最初の勤務医さんが来られた頃、三つの病院で経験がある勤務医さんは最初

「こんなにマメに丁寧にする病院は始めてだ」と感動して言ってくれました。でも暫くしたら余りの細かさ辟易してしまわれました……。当時のスタッフも同様です。そんな感じで、周囲を巻き込んで強引に突っ走り、神経ピリピリに普段の仕事をし、ほぼ三年間全ての時間外に対応して「燃えて」いました。結果、燃え尽きかけて精神と体を壊しかけてしまいました。それから仕事のスタンスを考えると最近ではぬるい気がして一生懸命しているつもりでも、たまに本当にこれか良いのかなあ……と思う事があります。ただ、やっぱり長くこの仕事を頑張りたいので、全力疾走で倒れて「ハイ終わり」って形にはしたくありません。

健康面以外でも、高い水準で獣医療を提供する志は持ちつつも(結構今でも細かいですね……スタッフの

皆さんすいません)、やはり基本は楽しく仕事ができる環境に自分もスタッフも置く事で、その上に患者さんへの良い治療が成立するのだと思います。最近も新聞等でも医療崩壊とかの話が出てきます。産婦人科・小児科は特に大変だそうですね。子供を二人持つ父親として、いつも子供の健康状態は心配です。病気になるたらオロオロします。ただ、肉体も精神もボロボロでピリピリのお医者さんの病院はやっぱ……嫌です(苦笑)。子育て自体も余裕が必要だと思えます。

去年は久しぶりにワクチンに来た飼い主さんに診察後にこんなメールを貰い感動しました。「二年前に先生の病院に来て、凄く丁寧で真面目だなあと、凄く嬉しい、病院全体がピリピリして暗い感じがして気になっていたので、今日、とても良かったですよ。」本当に嬉しかったです。まあその時に単純にヒマだったから緩やかな時間が流れて

広告のコーナーについて (掲載無料です。動物関係で希望される方はご連絡下さい)

いたのかも知れませんが（苦笑）。
 自分がどうい病院にしまったのかの原点を考えた変革した事に対する評価を頂いて嬉しかったです。もちろん緊急時など引き締まった状態も無いと駄目なのですが、基本は楽しい暖かい病院にしたいです。
 雰囲気だけでなく、医療レベルでも僕独りが突っ走り、スタッフが息切れしつつ脱落する病院では一定のレベル以上に到達できないと思います。人間の医療でもそうですが、今の医療水準は独りで背負うべきものではなく、チーム医療として行うべきものだと思います。皆で良い雰囲気で、でもだらけないで病院の水準を上げていける様な病院にしません。駄目なんだ！と妙な焦燥感に襲われる時は自戒しています。院長らしく良い環境を作れる様なれば……頑張ります。

が、飼っているお婆さんが難病の猫さんとは暮らせないので、患っている原因不明の鼻の病気を治す為に転院して来られました。
 鼻の根元が膨らんで目の神経が障害を受け、青涙が止まらない可哀想な状態は良くてカビか……悪ければ腫瘍を思わせました。様々な検査の末、桂のダクタリ動物病院にもヘリカルCT撮影をお世話になり、残念ながら鼻の奥にリンパ腫と言った腫瘍が増殖している事が判明しました。リンパ腫は多いですが、鼻の奥に限局するのは少なく唯一効果的な治療方法は放射線療法です。放射線療法をすれば完治や年単位の症状緩和が望めますが、三重の有名な病院に一月近く転院が必要で、殆ど毎日放射線を当て費用も五〇万を超える治療になってしまいました。

診断に至るまで、本当に毎日献身的に看護していたスタッフに尋ねると放射線治療を選択して根治を目指す決意をしてくれました。決断と言う重さを感じたと
 三重に行つてからも休みのたびに面会に行き励ましていました。その成果もあり、順調に改善し鼻水も止まり、退院の日を迎える事ができました。
 ズルズルと鼻を垂らしてご飯も自分で食べられなかったその猫さんは元気に退院して、普通にご飯を食べる生活を取り戻しました。きつと普通の生活が如何に幸せで楽しいものかを実感してくれました。

順調に暮らして一カ月も経たない頃、少しづつその子の行動がおかしくなってきました……。そして発作……。僕が診た時には完全に中枢神経を犯されています。腫瘍は脳に転移して、無情にも症状を起こしてしまつたのです。その時、スタッフのお母さんも「こんな事になると思つて治療してないのに！」と相当ショックに思われた様です……。スタッフはその時は何を思ひ学んだでしょう……。でも立派に黙つていつもの仕事と看病を続けてくれました。

その猫さんは一回だけお母さんが面会に来てくれた時に奇跡的に回復してご飯を食べて、そして暫くして静かに亡くなりました。
 残念ながら治療の成果は長くなかったですが、きつとその悲しかった出来事から、その子の役割だったと思える様なスタッフ・人間になつてくれると思います。
 去年は別のスタッフのワンちゃんも突発的な病気になつて来院しました。その病気は老人性特発性前庭疾患と言つて、ほつておいても治る一時的にバランスがおかしくなる病気だったので、目が揺れ・首が傾き・歩行不能になり吐いたりして食べられず、症状が非常にきつくて突発的なので皆さんビックリされる病気の一つです（余りに症状が酷いと、老齢だと衰弱や怪我で亡くなる事もあります）。その子もいつも明るいしっかりした子なのに、落ち込んで心配そうで可哀想でした。でもきつとその時色々感じて学んだから、更に良いスタッフになつてくれていると思います。

広告のコーナー

K.T.Cクラブ・KIWI Dog's CLUB

愛犬は家族の一員と考えるアヤハティオのしつけトレーナーで専門学校講師でもある方が、しつけ教室だけでなく木のケージのホテルでお預かりもしています。
 藤森店：075-643-1614まで



スタッフ達が去年に同時になんか事を経験したのには意味があると思うし、意味がある様にしなくてほならないと思います。僕も日々の治療で力不足で悩む事が多々ありますが、与えられた意味を考えて、真剣な中にも楽しく治療できる様に頑張ります。

◆トリビアの種よりは役に立つトピックス集 (前から分かってる事もありません)

*細菌の全遺伝子を化学合成、米研究所が成功

米科学誌サイエンスによると細菌の全遺伝子を化学合成することに米国の研究所が成功したそうです。化学的に合成したDNAを遺伝子工学の技術でつなぎ合わせ、細菌の一種の全遺伝子の複製に成功したとか...病気の治療への期待と共に恐ろしさも何故か感じますね。

*犬を飼うことは健康に良い!

二〇〇七年のMedical News Todayによるとアイルランドの大学で犬を飼う事が肉体的・精神的健康に良く、飼っていない人よりも低血圧・低コレステロールで心臓発作後の生存率も高い等、健康問題が少ないそうです。この効果は猫を飼うより高いとの事。
??一緒に散歩するせいかも

*梅小路公園での放し飼いが問題に

京都新聞によると、京都市下京区の梅小路公園で、飼い主が犬をひもでつなげずに散歩させる行為が横行して問題化しているそうです。犬の放し飼いは京都府条例で禁止されており、公園を管理・運営する都市緑化協会(下京区)は「遊ぶ子どもにとっても危険です」と園内に張り紙をして注意を呼び掛けている、との事です。マナーを守って

は社会生活の基本ですし、過信は禁物です。開業してから公園での喧嘩による傷は三回診ました。一回は腸が出て手術に...助かりましたが、噛むのも噛まれるのも御注意を!

*猫のワクチンにウイルス混入??

毎日新聞によると猫三種混合ワクチンに、感染力のある想定外のウイルスが混入していることが京都大ウイルス研究所の調査で分かったそうです。混入量は非常に少なく感染の恐れはほとんどないが、農林水産省

は過去に販売されたすべての猫用ワクチンについて、同様のウイルス混入がないか調べる方針を決めた、との事。当院は基本的に生ワクチンでなく不活化ワクチンで安全です。

*ペットフードも食品偽装...

読売新聞によると、サンライズは「ほねっこ」の一部は今年二月から十月にかけて、ササミを使っていないのに原材料名に表示し、混入した白身魚は表記していなかった。「ふつくらソフト」は昨年十月から今年七月にかけて、牛肉を使用していないのに「ビーフ」と表示していた、との事。ペットフードを巡っては直接規制する法令がなく、農林水産省と環境省が法規制を視野に検討を進めているそうです。しかし無茶苦茶です

*去年の有名な事件です

米食品医薬品局(FDA)によるとペットフードに、

高濃度を摂取すると有毒なメラミンに汚染された中国から輸入した小麦グルテンが含まれていたとの事です。ペットフードの大量リコールは、カナダのメニーフーズ社のペットフードに、基準以上のメラミン含有が判明したことが発端。同じ小麦グルテンを使用している他社のペットフードも、汚染されたペットフードが原因で死亡した動物の数は不明ですが、分かっているだけでミシガン州でネコ三十三匹とイヌ十三匹が死亡、オハイオ州でペット三十八匹が死亡したとみられています。本当に怖いですね...当院の取り扱いフードは安全です。

*で、続いて法規制の検討ニユース

塩崎官房長官は去年八月の記者会見で、ペットフードの安全性を確保するための法規制を行う考えを示しました。今年三月、中国産原料を使用したペットフードによって、アメリカで犬や猫が急死したのをきっかけに、

広告のコーナー

SORAN BERRY (トリミング・グッズ・カフェ)

その子に似合った可愛いかついいスタイルをお客様と考えます。値段等は聞いて下さいね。おしゃれで美味しい!

075-950-0005

ソランベリーさんまで



*エキノコックスに御注意

北海道のキツネや犬に寄生し、人に感染すると重い肝機能障害を起こす寄生虫エキノコックスの卵を、北海道大などの研究チームが国内で初めてペットのネコのふんから発見しました。ネコの体内ではエキノコックスは育ちにくく、人への感染源となる卵の排出はないのですが、今後は注意す

広告のコーナー

ペット送迎クラブ

大切なご家族の大切な快適な「足」として!

値段等は聞いて下さいね。
090-9163-1124
さえきさん まで



る必要がありそうです。基本的には本州には無いので、いつ来るかは分かりませんが、定期駆虫をしましょう!

*日本の犬もそうなのかな?

「犬はうれしい時、右へしつぽを大きく振る」イタリアの研究者が論文で、こんな実験結果を発表したそうです。インターナショナル・ヘラルド・トリビュン紙によると、実験では、飼い主を見た時、犬は元気いっばいにしつぽを右に振り、攻撃的な見知らぬ犬の場合には、しつぽを左に振るとの結果が出たとか。今度じっくり尾を観察してみましょう!

*小さなセントバーナード作れる??

米科学誌サイエンスにて、チワワなど犬種により小さいのは何故か?その主因が細胞の成長や分裂を促す遺伝子の働きを制御するDNAに変異があり、抑制されているためと米国立ヒトゲノム研究所やユタ大などの研究チームが発表したそうです。この遺伝子「IGF1」は、人間やマウスにもあり、働きが良くないと身体が小さくなることが知られるもので、遺伝子の制御メカニズムの詳細が分かれば、さまざまな遺伝疾患の解明につながると期待されること。

*僕も目指します!

EPA通信によると、ギネスワールドレコードに世界最高齢として登録された豪州の動物園で飼育されていた一七六歳のカメが去年死んだそうです。「ハリエツト」という名のこのカメは一八三〇年にガラパゴス諸島で生まれたメスだとか。僕の亀さんはまだ二十代でまだまだヒヨっ子ですね!

広告のコーナー

ウィッシュユのママ(トリマーさん)

カットはもちろん愛情一杯の一味違うペットホテルがありますよ。送迎あり。値段等は聞いて下さいね。
090-5240-7435
小倉さんまで



*学校飼育動物に関する調査

日本小動物獣医師会の調査では、ペットを飼育しているまたは飼育体験がある子供はいじめられている子供を助けようと思う気持ち飼育経験の無い子に比べて10%高く、逆に全く飼育体験の無い子は逆にいじめられている子に対して批判的な子が多かったそうです。

*国の捨て犬・猫対策

二〇〇八年から殺処分に至るまでの日を三日延ばし、新しい飼い主さんにワクチン代を補助する費用を「動物愛護管理推進費」として予算に盛り込む方向だそうです。

です。もちろん不十分ですが、これからの進展を感じさせる期待の持てるニュースですね!

*猫引っかけ病を知っていますか?

猫に引っかけられたり噛まれたりした後、その場所は軽い症状ですが、一週程度でリンパ節が腫れる病気で、自然治癒もしますが、5~10%は重症化します。原因のバルトネラ保菌率は京都では16%との事ですが、受傷したらすぐに受診する事と、感染源のノミの予防に努めましょう!

*小ネタ集

- *ウサギの食事はペレットは体重の15%以下を二~三回に分けて与える程度に制限する事、1%以下にすれば白歯のトラブルは殆ど無いとの事です。
- *やはりカツオブシ・ニボシ等はMg・Pのミネラルが多く尿石症の元です。
- *犬で一歳時に肥満だと、乳腺腫瘍の発生率が増えるとの事です。

■診察時間のご案内■

休診日は火曜日です。日曜日と祝日は午前のみです。

診察時間は前かが9~12時、午後が17時~20時です。

年末年始等の不定休は病院の掲示・毎月のインフォメーションやホームページのトップのトピックス欄をご参考下さい。

広告のコーナー

ペットポータークリッカー

元ペットキャブらく〜んファミリーより独立されました。ペットタクシーです。値段等は聞いて下さいね。
0120-12-9193
久野さん まで



(2007年1~12月)



手術記録

手術回数

一七五回。去年並みですね。手術予定日は土曜日に入りたい人が多い様です。

普通の不妊手術以外に、こんな手術もしています

去年までは会陰ヘルニア・子宮水腫(猫)・会陰部尿道口ウ(猫)の性転換・膀胱結石・ヘルニア(横隔膜・ソケイ・臍・腹壁・前恥骨靭帯)・腸切開(異物)・股関節脱臼整復・会陰切開ポリープ切除・後肢断脚・垂直耳道切除・帝王切開・肝臓破裂整復・胆嚢切除・眼球摘出・膀胱憩室整復・卵詰まり取り出し・断指・フィラリア釣り出し・

大腿骨骨折修復(タイイン法)・膀胱切除・大腿骨頭切除・前肢断脚・チエリアイ整復・瞬膜フラック・角膜放射状切開・ガマ腫切除・胃切開(異物摘出)・脱腸整復・ほほ袋脱出整復又は切除・断尾・陰塞摘出です。

五年目になり、変わった手術も上記の手術にある範囲での手術が多くなってきました。不妊手術と同じで何回もする事こそが大事だと思つて、一回一回をしています。

今年に新たに行つた避妊去勢・単純な腫瘍切除以外の手術としては、腸切除吻合術・小腸と大腸をつなぐもので、少し難しい分類に入ります。残念ながら腹腔内転移をしているのをお知らせの上、ご希望が有つたのでさせて頂きました(猫では腺ガンならそれでも有る程度延命が期待できる為)、残念ながら早期に亡くなりました。

よもやま話

若いゴールデンレトリバーさんの皮膚にしこりがあるつて、それを去勢時に同時に取ると「過誤腫」と言う腫瘍と正常の境界線の様な珍しいものでした。きれいに切除されていました。しかし、抜糸が無事に終わつ

て、少しすると……切つた場所に大量に液(きれいな炎症も無い物が)貯まる様になり、抜いても抜いても増え、一度は相当大きくなつて「リンパ系にも関係無い場所でも悪性でも無く、切り取れているのに何故?」とかなり悩みました。現在は全く問題無く収まって元気になってくれています。元気がよく分らない事は沢山あるなあ……と痛感しました。

最高年齢

今年十五歳六ヶ月の子が最高でした。この子は感染が酷くなつての抜歯です。次に高齢の子は十五歳五ヶ月の子ですが、その子は脇にできた「線維肉腫」と言うかなり悪性度の高い、しかも大きな腫瘍の手術に頑張つてくれ、その後も非常に元気にしてくれ嬉しいです。

*手術は新しい記録体制も順調で、必ず3人以上の人手をかけ、より安全・清潔・丁寧にできていると思ひます。本や器具や糸もより良いのを搜して積極的に導入しています。100%の安全な手術は有り得ませんが、それを目標に頑張ります。



連載物(最終回なのでちよつと長いです) 自己紹介の話⑤

僕は今は亀・猫さんとの生活ですが、元々は犬の犬派です。中でも好きな犬種は二頭飼つた柴犬とシエルティ(シエッタランドシープドック)です。シエルティは元タルククス等が大好きなのですが、自分と仲が良く人が飼つているとか不思議と縁が深い間柄です。その中でも忘れられない子が大学生の時に数週間だけ飼つていた元迷子犬のウエンデイちゃんです。ウエンデイと言うのは友人が勝手に付けた仮名で、本当は別の名前があつたのですが、ここではそう書きます。

六年間有る大学時代の後半三年、僕は趣味と実益を兼ねて焼き鳥屋さんで働いていました。そんなある日、開店早々にがらりと引き戸が開いたのでお客さんかな?と思うと……なんと犬でした。「非常に申し訳無

いんだけど……」という感じだけで鼻先と目をちよつと入れて中をうかがっています。もうすぐ開店という時に営業妨害になるのは目に見えています。僕はちよつと焼き鳥を拝借して入り口に立つてあげました。店のマスターは僕が獣医学科の人間なのを知っているの

「しゃーないなあ、もりやんは……」って感じで黙認です。入り口を出て改めて姿を見ると、非常に僕好みの小柄ながらもプリプリに太つたボンレスハムの様な子でした。ちよつと当時色々寂しい事が有りまして(苦笑)、一人で居るのも辛い毎日だったので「店が終わるまでこの横に居たら、連れて帰つてあげるからな」とだけ言つて、その子を抱いて入り口横に移動しました。別に足腰が悪そうでも無いのに、なされるままにその子は横になりました。店が終わるのは五時間後……正直どっか行くだろうなあとは思つたものの、狭い店内に入れる訳にもいかずに置いて仕事に戻りました。

「マスター、あの犬何?」来る度に常連さんが聞きます。どうやら入り口横にじつと居る様子です……。析る様な気持ちでバイトが終わつて飛び出すと、何と微動だにせず居てたではありませんか!こうなつたら連れて帰るしかありません。僕は家に連れて帰る事にしました。見知らぬ人である僕の車に当然の様にさつさと乗り込む見知らぬワンちゃん……でも、家に着いた

「足汚いから？」と足を拭くと入りました。台所から部屋に入る前にまたストップして、この部屋に入って良いのかを確かめる様に僕を振り返ります。「いいよ」と言うといそいそと入りました。「体も綺麗だし、相当賢いなあ」大事にされてたおじようさんだぞ!?」僕には寄り添うもののベッドには誘われても入らずに床で寝ました……これはさうとう身持ちが固いお嬢さんだ……。

翌日大学に連れて行って、そんな話をしていたらお嬢様っぽいという事でウエンデイと言うエレガントな名前を頂きました。それから灰色だった毎日が凄いい楽しくなりました。彼女は一切ヒモを付けないで平気で僕だけについて来ます。食欲も有り太っているのにオヤツでさえ僕以外からは一切受け付けません。それが非常に誇らしい日々でした。家の中でも必ず僕の後を付いてきて、お風呂もトイレも外から覗く様に待っています。毎日暮している内に、ある晩僕のベットに手を乗せてフミフミして入れてくれ〜とせがむ様になつて、ついに一緒に寝る様になりました。どんな要求の時も一切鳴かない子で本当に賢

い子でした。張り紙とかでも、飼い主さんを探しつつも、絶対見つからなくて欲しくないな〜と思うそんなある日、級友が「森本君、新聞に出て探した犬ってウエンデイじゃない？」と切抜きを持ってきてくれました。

……余計な事を……違う事を祈りつつ車に乗ります。ウエンデイはいつも通り黙ってついて来て助手席に乗りました。「絶対違うよな〜、さうだとしても家に居てな〜」と話しつつ待ち合わせの場所に、誰か待っているけどあの人達かな?と思つた瞬間！窓も開けてないのにウエンデイが大きく吠えてガラスをバンバン叩き出しました！もう確認するまでも有りませんでした。ドアを開けるとウエンデイは飛び出し、感動の再会が繰り広げられました。ウエンデイは「あ、お礼言うの忘れてたわ」って感じで一度だけ僕の方に戻って来て、またすぐに本当の家族と抱き合っていました。嬉しいやら悲しいやら……。飼い主さんは印刷会社を営んでいる大金持ちさんで、僕に三万円もくれ「何かあつたら力になるから」と名刺まで下さいました。それはそれで貧乏学生には非常に有難かつたのですが、何より人生でもかなりの落ち込んでいた時期にウエンデイが居てくれた事は、別れは辛

かったですが、本当に有難い事でした。

その後、無事にウエンデイのお陰でどん底からも立ち直り、留年しそうになりながら無事に六年になり、辛い辛い国家試験を経て卒業の日を迎える事になりました。正直、何回も名刺を使っちゃおうかなあと言う位に困窮したりしていたんですが(笑)、会いに行くのは卒業の日と何故だか僕は決めていました。卒業式当日、夜の送別会の前に今思っても相当変なヤツだと思つたのですが、国家試験合格と卒業式でテンション

が上がりつづいた僕は名刺を頼りに、何とアポ無しでウエンデイの実家に押しかけました。何とまあ凄い日本家屋……ちよつと遊びに来なかつたのを後悔しました(笑)。今思うと国家試験合格して、スーツ着て卒業証書持って、花持っていつちよ前の誇らしい自分で会いに行きたかつたんでしょうね。

「あの子はあんたに無事に保護して貰って、家に帰ってね、そら喜んでたよ〜」とかが思っていたら、一息ついて、おじいさんが言いました。

「あの子はあんたに無事に保護して貰って、家に帰ってね、そら喜んでたよ〜」とかが思っていたら、一息ついて、おじいさんが言いました。

ピンポン鳴らして用件を伝えると、二年振り以上に聞わらず「ま〜あの時の！まあ獣医さんになって、まあまあ」と笑顔でおばあさんが招き入れてくれました。中ではおじいさんが普段は知りえない印刷会社の会長さんなんです、迎えてくれました。「今電話

は丸々二日間誰一人として来なかつたんです(苦笑)。これは開業する場所を間違えたなあ……借金どうしよう……と誰も居ない病院で落ち込んでいた時、雨の中を最初に来てくれた子はまるで映画の様にウエンデイみたいな小柄で少し太り気味のシエルテイさんでした。僕はその時の感動と不思議な気持ちを忘れられません。色んな偶然が人生のストーリーを作るんだと思えますが、僕にとつて特にシエルテイさんは大事な想い出とストーリーを作ってくれた不思議な存在なのかなあ……と思つたりもします。

皆さんがそれぞれ色々なペットさんと共に、色々な想い出とストーリーを作つて暮らしていると思えます。それは出会いも別れも含めて、本当に不思議でかけがえの無いものだと思えます。そんな大事な時間の中で自分が何をできるのかを考えながら、常に治療ができる獣医になれたらなあと思つています。もちろんその為には人間的にも技量的にもまだまだなんです……。

これで自己紹介は五回目を迎えたので僕の話は終わりにします。長い話を読んでくれて有難うございました。

（終わり）



病院のこれからで、ここ最近予定している事・考えている事……

- *まずは僕以外の獣医さんも柱になってくれる事を願って、一緒に勉強していきます。
- *マニュアルは何事でも基本として必要です。それを更に充実させていきます。
- *動物看護師さんも更にメンバーが増えてくれたらなあと思っています。
- *その結果として、ゆくゆくは診察曜日と時間を増やせれたらなあと思っています。
- *西洋医学以外の代替療法はなかなか難しいですね。正直言って「気休め」以上であると「証明」できる結果が出ていると自信を持って薦められない以上は、僕はそれを通してお金を頂くのは難しいです……。今のところはアンテナは張りつつも、スタンダードな医療をきっちりと勉強する方が優先順位が高いと思います。もちろん他のやり方を希望する時は御相談下さい。紹介も含めて対応しています。
- *今年は内視鏡を導入する予定です。その後は「デジタルのレントゲン」「超音波診断装置の上位機種」の購入等を検討しています。それぞれの利点があり、全部一緒には買えないので悩ましい所ですが、順次導入してまいります。ただ、今の時代はとりあえず色々やる事を増やす時代でも無く、力不足分を連携しあう時代になるとも思います。
- *皮膚科認定医の取得の関係上、世界皮膚科学会の為に秋に香港に行くと思います。その他講習が沢山増えますが、治療で還元できる様に頑張ります。

**病院を
利用しましょう**

もちろん病気の診断と治療も大事ですが、普段から利用して頂きたいのは予防と飼育の相談です。予防といふのはワクチンやフィラリアももちろんですが、肥満の管理など飼育の方についても、大きな事を未然に防ぐ観点から非常に重要な事になってきます。健康手帳にも大事な情報が書いていますので読んで下さいね。

ちなみにワクチンの際に爪きり・耳掃除・臭腺絞りが必要ならサ
ービスでしていきま
すよ!

また何か飼い主様側からのご希望がありましたら教えて下さい。



**広告のコーナー
TEKU TEKU**

引越しも応相談のペットの為にタクシーです。値段等は聞いて下さいね。
<http://www.tekuteku-1122.com>または
 0120-939-819 まで



イラスト作製：浅野瑠美さん（動物看護師）
マンガは院長です。

バックナンバー

前回の号に興味がある方は
ホームページ
<http://www.11.plala.or.jp/YUU/>
 をご覧下さい。

そして病院にたびたび来て頂くこと無料をご利用できます！院内プリントとサンブルの配布・しつけのビデオ・本の貸出し・体重測定・口輪やカラー手袋貸出し・パウリンガル貸出し……etc 散歩のときや季節の変わり目色んな時に病院を利用して下さいね。

■病院に対するご要望・意見を待っています■

日頃からスタッフ一同、良い病院にする為に頑張っていますが、僕たちでは気がつかない事や至らない事もあると思います。そういう点を教えて頂ければ、勉強になります。

「365日・24時間診察してくれ」と言われても急には無理ですが、その様なご要望が飼い主様の必要としている病院像をつかむ事にもなりますので、どうか教えて下さい。



〒601-8432
 京都市南区西九条東島町 58-103

ゆう動物病院
 y@doctor.email.ne.jp